

議会だより

コロナになんて負けないぞ！ 小谷っこ入園式



令和 2 年度予算を可決……………②～③

補正予算・報告事案等を審議……………④～⑤

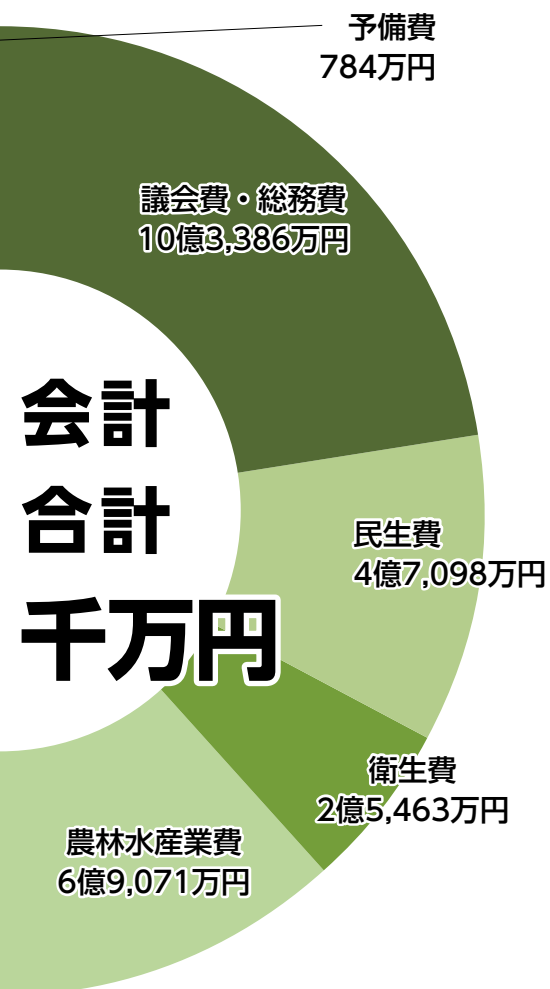
株式会社おたリアセット解散清算調査特別委員会報告・委員会活動報告……………⑥

一般質問・村政を問う……………⑦～⑮

わたしのひとこと (藤原アントネットジャンさん・猪又 実さん) ……………⑰

会計予算 45億7,000万円

件、報告3件、発議3件、陳情2件を審議し、すべて可決した。



総務課

●庁舎エアコン設置工事	4,730万円
●大網消防小屋建築工事	2,000万円
●沓掛地区古民家改修工事	1億 560万円
★ふるさと応援寄付金事業	2億5,050万円
★ケーブルテレビ映像システム更新工事	1億4,600万円

住民福祉課

●診療所冷暖房エアコン改修工事	1,930万円
-----------------	---------

観光振興課（観光商工係）

●緊急観光対策事業	3,000万円
★梅池自然園木道整備工事	1,500万円

観光振興課（農林係）

●営農等倉庫建設工事	9,000万円
●ちゃんめる駐車場舗装工事	1,300万円
●林道姫川妙高線・大池線改良工事	3,800万円
●道の駅おたり冷凍冷蔵庫設置工事	1,210万円

特産推進室

●集落支援事業	8,325万円
●移住促進事業	1,284万円
●複合拠点施設整備事業	1億2,410万円

金が必要と考えるが。

答：財源を考えると難しいと考える。

問：複合拠点施設の指定管理者の公募は。

答：村内3事業者に対し募集をする。

意見：関係人口創出事業を提案されたが、村にお金が落ちる仕組み、参加費の見直し、小谷の子どもも参加できる内容など審議が尽くされないため、予算の訂正を求めた。更に、少雪とコロナウイルスの影響による緊急観光対策の予算を計上するよう訂正を求めた。

※ ★印のついている事業は、ふるさと応援寄付金を財源とした事業です。

議案10号

令和2年度 予算を可決 (賛成多数で可決)

令和2年度一般

3月定例会 3月4日～16日まで開かれ、議案22

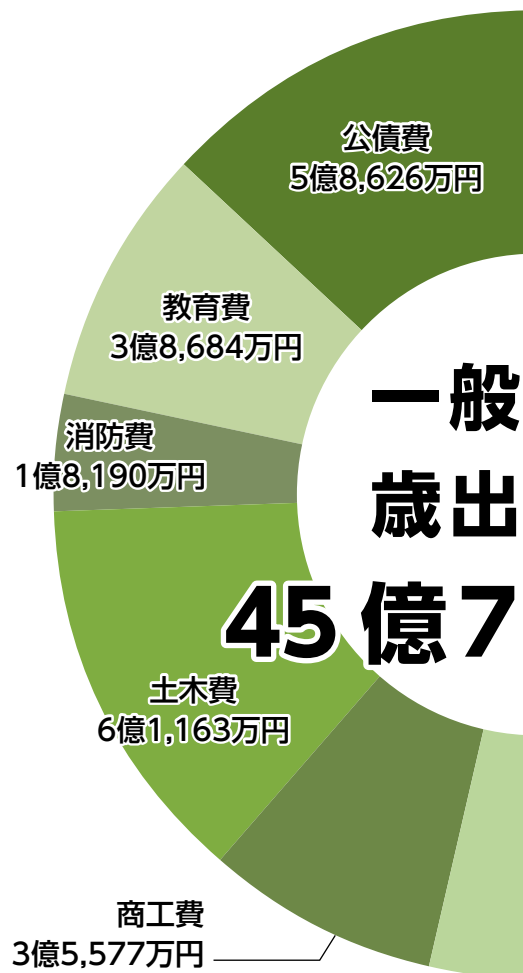
新規・拡充予算ピックアップ

建設水道課

- 湯原1号トンネル補修工事 4,200万円
- 村道千国若栗線横前道路改良工事 8,000万円
- 生活関連緊急整備道路補修等工事 4,000万円
- 高橋・川内橋補修設計委託 1,316万円

教育委員会

- 第3子以降学校給食費免除補助金 110万円
- 総合型地域スポーツクラブ運営補助金 430万円
- 公営塾の運営 419万円
- ★ 保・小中学校スキーシーズン券 200万円
- ★ 白馬高校支援事業 4,643万円
- ★ 中学生海外交流事業（台湾・中国） 645万円



(全員賛成で可決) 特別会計予算 4億8,940万円

議案番号	区分	2年度当初予算額
11	国民健康保険特別会計	3億4,700万円
12	国民健康保険診療施設特別会計	9,810万円
13	後期高齢者医療特別会計	4,430万円

(全員賛成で可決) 地方公営企業会計予算(会計上、収支に相違あり)

議案番号	区分	収益的収入支出予算		資本的収入支出予算	
		収入	支出	収入	支出
14	簡易水道事業会計	1億7,786万円	1億7,516万円	6,935万円	9,250万円
15	下水道事業会計	2億3,285万円	2億3,230万円	1億1,230万円	1億1,282万円

予算特別委員会での質疑

- 問：観光立村の村なので積極的に取り組んでいく考えはないのか。
答：観光地域づくり協議会の答申を受け、しっかり対応していく。
- 問：人口減により消防体制に支障をきたす地域があると思うが。
答：自主防災組織の必要性が大であり、組織率の向上に努める。
- 問：柵池自然園楠川トイレの進捗状況は。
答：当面の対策として仮設トイレを考えている。
- 問：個人の古民家を保存するための補助

◇ 専決処分報告（報）

番号	件名	内容	審議結果
1	工事変更請負契約締結の専決処分報告（小谷村役場多目的ホール改修工事）	316万8,000円増額 契約後の契約金額：6,861万8,000円 契約相手方:金森建設（株）小谷営業所	承認 (全員賛成)
2	令和元年度 小谷村一般会計補正予算（第10号）の専決処分報告	1億4,200万円追加 総額47億8,000万円 ふるさと応援寄付金事業他増額	承認 (全員賛成)
3	損害賠償の和解並びに額を定めることの専決処分報告	村道川内下松沢線の路上にあった石に接触し 車両が破損	承認 (全員賛成)

◇ 村長提出議案（議案）

番号	件名	内容	審議結果
1	令和元年度 小谷村一般会計補正予算（第11号）	4,700万円減額 総額47億3,300万円	可決 (全員賛成)
2	令和元年度 小谷村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	680万円追加 総額3億7,200万円	可決 (全員賛成)
3	令和元年度 小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第4号）	10万円減額 総額1億180万円	可決 (全員賛成)
4	令和元年度 小谷村簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	100万円減額 総額1億100万円	可決 (全員賛成)
5	令和元年度 小谷村農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	110万円減額 総額8,140万円	可決 (全員賛成)
6	小谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	減免対象者の追加に伴う改正	可決 (全員賛成)
7	小谷村観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	梅池自然園入園料の改正 大人300円→320円 小人250円→260円 ※反対意見: 観光客減少とコロナウイルスによるこの時期に値上げすべきではない。	可決 (賛成多数)
8	小谷村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	給料表、定額支給する職種の報酬額の追加 制度導入に伴う他の条例改正	可決 (全員賛成)
9	小谷村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	子ども子育て支援法の改正に伴う改正	可決 (全員賛成)
16	売買契約の締結について（全身用X線CT装置1台購入）	金額：1,999万8,000円 契約相手方：サンメディックス（株） 松本営業所 所長 成田 光司	可決 (全員賛成)
17	小谷村社会福祉施設・観光交流施設の指定管理者の指定について	指定管理者：社会医療法人 城西医療財団 理事長 関 健 指定期間：令和7年3月31日	可決 (全員賛成)
18	大網農山村体験交流施設の指定管理者の指定について	指定管理者：くらして 代表 前田 浩一 指定期間：令和5年3月31日	可決 (全員賛成)

番号	件名	内容	審議結果
19	柵池ゴールハウスの指定管理者の指定について	指定管理者：柵池スキー学校 校長 猪又 一之 指定期間：令和5年3月31日	可 決 (全員賛成)
20	大町市及び小谷村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	連携分野の追加等による連携協約の一部を変更	可 決 (全員賛成)
21	長野県町村公平委員会共同設置規約の変更について	麻績村筑北村学校組合の解散による脱会のため規約変更	可 決 (全員賛成)
22	令和元年度 小谷村一般会計補正予算(第12号)	3,400万円追加 総額47億6,700万円 緊急観光対策事業等増額	可 決 (全員賛成)

◇ 請願・陳情（請）

番号 付託委員会	件名	提出者	審議結果
1 経済委員会	除雪作業に関する陳情書	小谷村建設業組合 組合長 郷津 健	趣旨採択 (全員賛成)
2 総務委員会	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採 択 (全員賛成)

◇ 議員発議

番号	件名	審議結果
1	予算特別委員会の設置について	可 決 (全員賛成)
2	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書(案)について	可 決 (全員賛成)
3	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書(案)について	可 決 (全員賛成)

議会の動き

- 12月20日 大北社会福祉事業協会評議員選任解任委員会・第5回理事会
- 12月24日 長野県農業再生協議会北アルプス地方部会議
- 12月27日 全員協議会
- 1月22日 第15回長野県地方自治政策課題研修会
- 1月24日～25日 国土交通省砂防部と長野県治水砂防協会姫川支部との意見交換会
- 1月27日 大北地区農業振興推進協議会 先進地視察研修
- 1月30日 県町村議会議長会 議会運営研修会
- 2月 5日 社会福祉事業協会 令和2年第1回理事会
- 2月13・14日 北アルプス広域連合議会 2月定例会
- 2月20日 白馬山麓事務組合議会 理事者議長会
- 2月21日 長野県町村議会議長会第30回定期総会
- 2月25日 全員協議会・議会運営委員会
- 〃 白馬山麓事務組合議会2月定例会
- 3月3日 社会福祉事業協会 監査・令和2年第1回評議員会

村政に関する意見書

議会では、次のとおり村長に対し意見を申し入れました。

「株式会社おたりアセット解散清算調査特別委員会」からの報告書の結論と、昨年4月に就任して以来中村村長が強調している「スピード感」等を精査した結果、継続事業は元より公約事業に関して、小谷村政は大いに停滞状態にあります。

また、地球温暖化に伴う雪不足とコロナウイルスによる観光事業全体の収入が激減している緊急事態に対して、議会からの要望で補正予算は計上したものの、実質的には予算としては何ら具体的処置を講じようとしていない現状です。

この危機的状況を打開する対策を早急に取り組むとともに、自治体の長としての自覚と重責を十分理解の上で、今後の予算措置並びに行政執行にあたるよう議会として強く求めます。

株式会社おたりアセット解散 清算調査特別委員会報告

●最終報告書・提出

令和元年9月17日の定例議会で、株式会社おたりアセット解散清算調査特別委員会（以下、特別委員会という）を設置し、株式会社おたりアセット（以下、アセットという）の清算及び公印の取扱並びに中村村長が締結した合意書により発生した違約金等について、村民益を優先し合法的に行われたかを判断するために、令和元年9月17日から令和2年3月6日の間に中間報告をばさみ、特別委員会で検討した結果として、令和2年3月16日に議長に報告書を提出し、同日特別委員会を解散した。

の取扱及び合意書の締結については、中村村長の回答では「合意書を締結したことは拙速であったと重く受け止めている。公印の取り扱いについて承知していなかった点があったのは否めないが、職員を通して行ったことであり、問題ないものと認識している。」との回答を得たが、「職員を通して行った」と、自ら行った行為に対してあたかも職員に責任転嫁するような回答である。

以下、報告書の結びである結論を抜粋して特別委員の最終報告とします。

村長が個人で行った行為であるとするのが相当である。何故ならば議会が有する予算議決権を無視して契約したことは、村長の権限を逸脱した行為であると思われる。

以上

【報告書・雑感】
資産保有会社、アセットと、それらを運用する会社を設立し、日本政策投資銀行から直接的支援を受け、企画立案した事業に対して融資を受け、小谷村の観光再生事業を行う。仮に事業が失敗しても、村の損失は会社設立費用等の約三千万円で済むといった内容が、村の自主財源を何億円も使い、失敗したら何億円も損失する話が横行し、計画は宙に浮いた。

今となつては、これらの計画の良し悪しを確かめる術は無いが、小谷の将来を担う若い人達が、悔いの残らない新たな観光再生事業に挑んでいただくことを切望し、雑感といたします。

委員会活動報告

経済委員会報告

3月13日 少雪と新型コロナウイルスによる観光業が大打撃を受けており、梅池地区で懇談会を開催しました。

懇談会の意見（抜粋）

①自力でできる限界が来ている。行政の力を借りたい。「観光再生協議会」のような組織を作り行政と将来にわたる話し合いができれば良いと思っている。

②夏は合宿がメインで、体育館・グラウンドなど取り合いいなくなっている。「総合的な運動施設」が必要。

③通年型観光として、白馬乗鞍岳へのロープウェイで通年観光の目玉商品となる。

また、スキー産業は大事で冬場の人材流出を防ぐためにも雪が絶対必要で人工降雪をしないと雪の確保は難しい。

④イベントが中止となり寂しい状況である。塩の道祭り、梅池サイクルを中止しないでほしい。

⑤保健所HACC^ハCC^ハPP^ハが法律で厳しくなり、それなら宿泊業を止めた方がいいと話している。

⑥観光事業を大切にしていくことを村が率先してアピールすることで未来につながっていくと思う。

⑦雪不足でかなりダメージを受け、3月に入り新型コロナウイルスのダブルパンチ。経営としては傾いている。これがリアルな現状。

⑧これからグリーンシーズ^ン、黒部立山アルペンルートで生計を立てている。大手ツアー会社では4〜6月までツアーは皆無、それ以降も見通しがたかない。

⑨生活不安しかない。大町や長野に働きに行く・都会に出稼ぎに行くことを考えている。議員は想像できますか。

村政を問う

令和2年3月定例議会一般質問

質問通告書 締切2月28日

一般質問は、定例議会において質問通告書を提出し、1時間の制限で執行機関に疑問点や所信を問います。CATVで公開されていますが、村民の皆様、傍聴にお越しく下さい。原則として本会議場（定員30名）全員協議会室（10名）委員会室（5名）となっております。今回の傍聴者は7名でした。前定例会から多目的ホール入口の談話室でモニターが視聴できるようになっています。

〈質問項目〉【順番は質問通告書提出順で、質問議員各自でページ作成をしています。】

10日（火） 午前10時～12時・午後1時～4時30分

- | | | | |
|---------|----|---|---------|
| 1、曾根原恵子 | 議員 | ① 村民に明確なビジョンを
② 新年度予算村民要求実現へ
③ 子どもの「均等割り」国保減免制度を | (8ページ) |
| 2、深澤 英喜 | 議員 | ① 少雪及び新型コロナウイルスの影響について
② 梅池自然園楠川トイレ建設工事について
③ 観光再生事業について | (9ページ) |
| 3、吉澤 学 | 議員 | ① 村政について
② 少雪による除雪委託業者への補償について | (10ページ) |
| 4、藤原 賢司 | 議員 | ① 村税・令和2年度における収納見込みを問う
② 公約事業と継続事業 | (11ページ) |
| 5、猪股 充拓 | 議員 | ① 令和2年度予算の観光施策について | (12ページ) |
| 6、吉岡 久人 | 議員 | ① 校歌で児童・生徒にエールを
② 観光について
③ 公印について | (13ページ) |
| 7、太田 武彦 | 議員 | ① 令和二年 年頭の取り組みあいさつについて | (14ページ) |
| 8、北村 利幸 | 議員 | ① 令和2年度主要事業・予算について
② 持続可能な開発目標（SDGs）推進を
③ 「気候非常事態宣言」宣言を
④ (株)おたりアセット清算について | (15ページ) |

「検討する」の回答はどうなったか？

【質問に「検討する」とした回答は、1年間検討後に村長より再回答されます。】（抜粋）

〈質問（平成31年3月）〉

〈再回答〉

- 独り暮らし高齢者等の屋根雪下ろし ◆ 令和元年度から玄関先除雪も対象となったこともあり、据え置
時給 1,630 円は…………… き。
- 複合拠点施設の運営組織と財源負担 ◆ 複合拠点施設の管理運営方法は、早い段階で運営候補者を決定
し、運営候補者と協議の上、決定する。住まいに関する利用者負担額は「ケアハウスいわかがみ」の料金を参考に設定する。
村の財源は「見守り」や「拠点施設の維持管理」にかかる部分が見込まれ、運営候補者とも協議し必要となる経費を負担する。

観光地域づくり 未来的な構図に



曾根原恵子 議員

村民に明確なビジョンを

問 審議会の進捗状況と今後のスケジュールは。

答 村長 現在進行中の審議会では委員が、それぞれの立場で議論を深めている。答申を受けたら村民に伝える努力をする。総括の段階に入っているが第6回目は3月24日開催。

問 答申後の次段階としての構想は。
答 村長 ビジョンを作る。実現の取り組みを検討する際は、観光関係者、村民の参加で地域に根

ざしたものになるよう進める。

問 村民への丁寧な説明会や「村民会議」等開催の予定は。

答 村長 具体的には示せないが考える。

問 審議会の録画をCA TVで流したらどうか。

答 村長 録画はないのでホームページを見てほしい。

新年度予算村民要求 実現へ

問 農・林業の課題に対応した予算付けは。

答 村長 3億7,000万で後継者対策、農業法人育成支援、有害鳥獣対策、中山間地5期対策等、農地を守る活動に支援する。

問 国の交付金が届かない農家に、作業委託単価見直しなど、行政支援を。

答 観光振興課長 農業再生協議会等で単価の再検討をする。

問 森林活用の民間経済活動を絶やさないため、担当課の継続責任が大事だ。

答 村長 新年度は「森林贈与税」を活用する。村民・林業者との懇談説明会を計画している。

問 農産物加工施設改修の予算は。

答 村長 山菜加工場、古美里を含めた施設基本設計に550万円予算計上した。

問 焼却ごみ減量にかかわる予算は。

答 村長 36万円余。堆肥化機材の利用者実績を伸ばしたい。
問 清掃一般経費が1億2,700万円。焼却コスト、運搬費、CO₂削減

のため生ごみのたい肥化に取り組むべきだ。観光地の減量課題を克服するために村独自のたい肥化事業の研究をしたらどうか。

答 村長 広域事業の中で検討する。

子どもの「均等割り」 国保減免制度を

問 国保の負担が重い。少子化対策に逆行した制度で出産すれば頭割りが増え1万8,700円保険税が増加する。

答 村長 県の運営になり課税方式が統一される。資産割課税の廃止も課題で全体的な検討が必要だ。

問 「減免」の判断は首長にゆだねられていて政令省令の細かな規定はない。

答 18歳未満の子どもの加入者は何人で、免除の場合の必要予算は。

答 住民福祉課長 109名で143万6,000円。

問 全国各地で減免制度を適応する自治体が増えている。住民福祉の増進を図ることが自治体の第一の役割だ。検討を。

答 村長 6月以降、再度資産割を含めた全体的なシミュレーションを行う。子どもの均等割も検討課題として協議し一定の方向を示す。



「森の恵みだ!」イタヤカエデの樹液

少雪及び新型コロナウイルスの影響について



深澤 英喜 議員

問

過去にない雪不足。小谷村は雪があつてこそ、生活ができる村と

思うほど重要な問題。しかし世界的に異常気象が現実化され、今年だけではなく来シーズン以降も心配である。また、雪不足だけではなく、年々加速していく、日本人のウィンタースポーツ離れも小谷村にとって大変深刻なことである。更に、新型コロナウイルスによりアジア系の方々の減少、これによる風評被害、3月の団体スキー客に自粛。また、夏の団体合宿までの影響があると心配している。まさ

に緊急事態である。

ふるさと応援寄付金などを使って村内の各事業者に対し、支援する考えはあるのか。

答

村長 雪不足に対する対応については、

1月15日に「雪不足に関する観光対策会議」を開催し、関係者の皆さんにお集まりをいただき、対策について検討をいただいた。その後、新型コロナウイルスによる団体客のキャンセルなどの影響がでてきたため、2月3日から商工会による特別相談窓口の設置と村の制度資金を活用した利子補給を実施している。また、2月12日には索道事業者協議会の皆様とともに支援策について、協議する中で、当面のグレンデの雪の確保や、来シーズンに向けての協議

をいただいた。

なお、ふるさと応援寄付金や積み立てた基金は設定された目的の事実で充てるものでありますので、今般のような緊急的な支援策については、財政調整基金などの財源を充てたいと考えている。

梅池自然園楠川トイレ建設工事について

問

違約金、その後の協議結果は。

答

村長 請負業者とは継続して協議をしているが、報告できる段階にはいたっていない。

問

中止までの工事準備にかかった費用と、

答

村長 工事準備費2,000万円。設計費は、計費340万円。

観光再生事業について

問

㈱おたりアセットに使った支出額は57,159,411円です

が、内訳は。

答

村長 会社設立の平成30年4月24日から平成31年3月31日まで、平成30年度予算から支出した金額は52,359,411円。

- ・会社設立の出資金 10,000,000円
- ・説明会の会議録作成料等 122,040円
- ・会社設立手続委託料 379,980円
- ・意見交換会時の会議室費 50,000円
- ・事業負担金
- ①活動負担金 11,935,432円
- ②土地見物購入負担金 29,871,959円

平成31年4月1日から解散日の令和元年6月30日まで、令和元年度予算から支出した金額は4,800,000円。全額活動負担金として㈱おたりアセットに支出している。

問

清算業務が進んでいると思うが現状は。

答

村長 株主総会において議決し、登記された清算人が業務を行うものであり、村が行っていないが、一般的には清算に向けて財産と債務の整理を進めているものと考えます。

問

4,200万について、経過はどうなっているか。

答

村長 4,200万円については、現在個人に対する訴訟がおこなわれている状況であり係争中のことについてはコメントできない。



3月中旬のスキー場

村政について



吉澤 学 議員

村政について

問 中村村長就任から一年が過ぎようとしていますが、来年度重点に取り組む施策について伺う。

答 村長 まず、本年の仕事始めの式で職員に示した内容は次の五点である。

- 一、観光地域づくり審議会
 - 二、CATVを含めた通信環境やWiFi環境の整備促進
 - 三、福祉交通の検討と妊産婦に対する支援
 - 四、教育からの村おこし
 - 五、継続事業の完遂
- 観光については、観光地

域づくり審議会が現在進んでいる。この答申を受けてからが最も大切であろうと考えている。

CATVやWiFi環境については、施設の老朽化が進んでおり、早急に対応が必要な状況にある。

現行をよりバージョンアップした内容での環境整備を協議しているところである。

妊産婦への支援策については、産科への通院等に係る費用を補うべく支援をするもので、次年度の予算に組み込んでいる。

教育からの村おこしは、古道であるとか、小谷の本の改訂版作成など、小谷の将来を担う子どもたちに地域の資産を教育の場で活用できるようにしたいと考えている。

継続事業については、複合拠点施設や農産物加工施設、楠川トイレなどが大きなものであるが、いずれも進捗状況を議会に示しながら進めていく。

設、楠川トイレなどが大きなものであるが、いずれも進捗状況を議会に示しながら進めていく。

少雪による除雪委託業者への補償について

問 暖冬で、観光業、取り分け除雪の仕事に携わっている委託業者の除雪費が減少している。雇用の確保など地域の基幹産業として重要な役割を担っており、何らかの支援が必要だと思ふ。考えを伺う。

答 村長 積雪量は、各冬期間の雪の降り始めから降り終わりまでを集計しており、過去50年間で今冬が最も少雪となった。

除雪費用の財源については、降雪量等により経費が増減し、一概には言えないが、過去5年間の単純平均で求めた財源割合は、「社会資本整備総合交付金等9.2%」「機械使用料等0.2%」「特別交付税36.9%」「普通交付税を含む一般財源

53.7%」となっている。村として「全国積雪寒冷地帯振興協議会」の会員自治体とともに、引き続き国へ関係予算の確保・支援の拡充を要望していく。委託業者への補償については、今冬のような少雪の場合、委託料が補償金額に満たない場合が多く、委託業者へは補償金が支払われている。

53.7%」となっている。

村として「全国積雪寒冷地帯振興協議会」の会員自治体とともに、引き続き国へ関係予算の確保・支援の拡充を要望していく。

委託業者への補償については、今冬のような少雪の場合、委託料が補償金額に満たない場合が多く、委託業者へは補償金が支払われている。

除雪委託業者の多くは建設業者であり、観光業と並ぶ村の主産業である建設業を経営的観点から支援すべく、例年4月支払としている機械管理料を3月中に先払いすることとし、併せて緊急経済対策として、1箇所200万円以下の小規模な道路補修等を施工する「生活関連緊急整備事業」を3月補正で3,000万円予算化し、本定例会初日に議決した。

審議している新年度予算では「生活関連緊急整備事業で、3,400万円」「道路補修事業で1,500万円」を計上し、総額で7,900万円の予算規模となる。

路補修事業で1,500万円」を計上し、総額で7,900万円の予算規模となる。

除雪委託業者への支援と併せ、道路補修等については毎年実施している集落要望ヒアリングで200箇所以上の要望があり、要望箇所の優先度・緊急度などを考慮しつつ3月より工事を順次発注し、生活基盤の整備を進めていきたいと考えている。



村道除雪

村税・令和2年度における

収納見込みを問う



藤原 賢司 議員

問 コロナウイルスなど社会経済情勢が不確定である中、年度ごとに減少傾向にある村税の令和2年度の収納見込みは。

答 村長 納税者の理解、協力により一定の徴収率を維持できている。

問 各税収の増減の見込みは。

答 村長 各税収に増減はあるが、村税全体では、4,096,000円の増を見込んでいる。

問 ふるさと納税による寄付に関わる総務省の財政優遇策について村の取り組み方針は。

答 村長 本制度による寄付金募集に着手したく令和2年度予算に計上している。

公約事業と継続事業

問 「日本一住みよい村にする」ための令和2年度予算に託した意思と、新年度予算の関連は。

答 村長 観光関係の予算編成に物足りなさの指摘は真摯に受け止め、今後の指針とし、日本一住みよい村にするため、チーム小谷一丸となる方向付けができるよう努力する。

問 小谷村全域での観光振興と里山学生塾「宿」への取組状況は。

答 村長 目指しているものは東山帯の観光資源開発と学生合宿の誘致、新しい形の山村留学な

ど、現在行っている観光地域づくり審議会で議論されている。その答申を受け内容を考慮して進めていく。

問 遊休農地を活用し小谷村ブランドの創出に向けた6次産業の取り組み状況と、今後のどのような施策を講じるのか。

答 村長 遊休農地は、既に実証的に多くの方が携わっている中で、6次産業として確立すると考えている。今後、特別プロジェクトの立上げを視野に入れて進めたい。

問 加工貯蔵施設の予算及び現在の取組状況並びに今後の施策は。

答 村長 今年度「山菜加工場の老朽化」と「道の駅おたりの貯蔵施設不足」という課題を、別々に解決することとし、令和2年度予算として「山菜加工場・古美里」の改修基本設計委託料、「道の駅おたりの貯蔵施設不足」の整備工事請負費を計上している。

地域医療の充実と高齢者が生き生きと暮らせる村、実現のための予算と取り組み状況及び今後の施策は。

問 健康寿命を延ばすことが、医療費の削減、社会保障の安定につながる、村民が生き生き暮らせる村づくりにつながるという意識をもって、これまでも行っている介護予防運動を含めた村民のふれあいや、小谷食の会の減塩レシピの周知など、各種事業を継続、拡充するなどし、村民の健康づくりに取り組んでいきたい。

答 村長 早い段階から運営管理候補者を選定し、官民協働で運営方法を具体化し、その上で、複合拠点施設の設置条例等の整備を行い、建設工事終了後スムーズに運営できるように準備を進めている。

問 議会制民主主義では、議会の意思決定が最も重要であり、理事者は議案等に関しての説明責任を果たす義務がある。

答 村長 議会の承認を得ることなく行った(株)おたりアセットの清算について、事業に賛成、期待を託した村民の皆さんに今後どのように説明し、どのような代替え案を示すのか。

答 村長 会社の清算は従前議論されているので理解いただきたい。事業を推進すべく期待していた皆様も、実際にどのような進んでいくのかの理解について深く浸透していただくこととは内容的にも時期的にも説明できる。

また、今後の代替え案については、観光地域づくり審議会で出される答申を受け、議会の皆様からも参画いただきビジョンの実効性を示していきたい。

令和2年度予算の

観光施策について



猪股 充拡 議員

問 これまで小谷村の観光産業をささえてきた冬のスキー観光が、この冬は誰も経験したことのない記録的暖冬・少雪により各観光事業者には甚大なダメージを与えている。おそろしくシーズン終了時には多くの事業者が廃業に追い込まれる状況になってくる。

それだけに令和2年度予算、特に観光関連の事業予算には大いに期待していたが新規事業どころか継続事業にすら予算が組み込まれていない。

村長公約の東山の観光開発や学生スポーツ合宿を狙



コロナショック!! 閑散としたスキー場

った観光施設整備事業等の予算も盛り込まれることなく非常に残念だ。

少雪と新型コロナウイルスの影響で、かなりの数のキャンセルが実際問題としておきてる状況で、観光事業所の施設の老朽化問題、事業者の高年齢化、観光事業の後継者不足など多くの問題を抱えている。

村の主幹産業は観光業であることは紛れもない事実で

ある。今後の村の観光業についての村の対応・村長の具体的な対策、考えを伺う。

答 村長 この冬の記録的な雪の状況及び新型コロナウイルスが観光業に携わる皆様に大きな打撃を与えていることは、本定例会冒頭のあいさつで述べたとおりであり、議員指摘の多くの事業者が廃業に追い込まれる危険性があるということは、大変危惧をしなければならぬ問題であり、その上でも開会時に述べた「観光非常事態」の対応に即した協議をしていきたいと考えており、早速3月6日に対策会議を開催したところである。

来年度予算に観光関連事業の事業予算が計上されていないとの指摘。特に観光面においては、村の基幹産業として位置づけられるところは私も同様の考えであり、冬季に限らず通年型の観光業へのシフトが肝心であるとも感じている。特に

観光地域づくり審議会で答申を受けることについては、しっかりとしたビジョンを打ち出すために庁内での体制をつくり推進のトップを決め、議員からも入っていただく中において、共に作り上げ展望のある計画として予算組をしなければならぬと考えており、答申を受けたのち早々に補正予算として示し理解いただきたいところである。

東山観光については、環境整備に向けた必要性はありと認識している。そして、いわゆる学生スポーツの誘致に関しては、議員からもご意見をいただいているところであり、検討の段階に入っている中で、視察や委員会等が必要がある場合は、補正予算による対応をしたと考えている。

施設の老朽化、事業者の高年齢化、後継者不足においては、多くの自治体の抱える観光課題であると認識している。特に索道関係の

施設については、広域DMOハクババレーツーリズムなどを活用した施策が必要となるものと考えている。

予算については、事業を行わないということではなく、計画を実行すべく裏付けがあつてするものとの考えから大枠での配分確保といった形はとらず、補正対応とするようにした。

ご指摘のように、事業予算として当初から見える形については、真摯に受け止め今後の査定指針として考えてゆく。



雪さえ降れば賑わうスキーヤー

校歌で児童・生徒にエールを



吉岡 久人 議員

問

新型コロナウイルス
対応で政府が学校の
3月中臨時休校を表明した
が、(1)村の対応は。(2)卒業
式・入学式はどうするか。
(3)12月一般質問での回答(学
校側から要請してCATV
で可能)だが、この時こそ入
学式まで定時に村民も聞か
れる告知放送で全村民が応
援している土壌作りを。

答

教育長 (1)3月2日
から春休みまで政府の
臨時休校要請があり、県も国
の要請趣旨を踏まえ、検討す
るよう通知あり、村では休校
期間中の過ごし方の指導を含
め、教職員・保護者とともに
準備期間が必要と考え、3月
4日から小・中学校とも17日

までとし、後は春休みとした。

(2)18日の卒業式は小中とも出席は卒業生と保護者、教職員のみで、在校生は不参加。来賓も村長・議会議長・PTA会長のみ。式進行も簡素化した時間短縮。入学式は今後の状況を見極める。(3)子供たちへの趣旨説明や事前の指導が行き届かない中で、いきなり音声告知放送で校歌を流しても少し唐突すぎる気がする。また、学校側から要望がない。



ピアノ伴奏で男女2部合唱の校歌を心で歌う中学卒業生

観光について

式の夕と夜2回、両校歌が放送され、一緒に歌った帰宅在校生もいたという。

問

(1)少雪対策の観光①
梅池自然園上部へのロープウェイの検討を。②スノーマシン導入に補助を。③ふるさと納税返礼品に宿泊券等あるが、有効期限の延長でスキー目的の希望者に応えるべき。(2)グリーン期の充実を。

答

村長 (1)①自然園上部は特別保護地区の指
③塩の道整備状況と祭り以外の利用客数。④登山案内人の育成と中学集団登山は10年経つので唐松岳から白馬岳に戻すべき。(未来ある生徒に小谷村の広さや高さ等体験学習させ、登山の魅力や夏期の観光のあり方を学習させるべき)。(3)温泉①各温泉の源泉成分。②湯めぐり等の企画は。③村民も含めて「温泉による健康増進の村」の企画は。

定地域となり、実現の可能性は極めて難しいと思うが、自然環境を保護しながら活用を図ることは必要と考える。ハクババレーリゾートなど広域DMOとして関係省庁に要望を出していくことはやるべきことと考える。②索道事業協議会の意見はゲレンデ内の排水対策や草地化等により、年末には少雪でも滑走可能なゲレンデを最低限確保することが必要とのこと。スノーマシンの含め、何らかの支援を行いたいと考える。③返礼宿泊券は1月末現在で720件186万4千円。エリア内10スキー場リフト共通券はヘアで103枚、村内スキー場は66枚。問い合わせは1件のみで宿泊補助券はスキー場のみ限定ではなく、有効期限も1年間で、グリーン期にも利用可。一律に有効期限の延長は行わず、今後寄付者からの問い合わせに対応したい。

教育長 (2)④1泊2日の近年の学校登山は医師の帯同が原則で、医師確保に大変

苦慮して、白馬中と同じ日程や、小谷中1年と2年の合同実施でして隔年開催と工夫したが、医師会から来年度以降、派遣できない回答のため、例として中学1年のみで雨飾山の日帰り登山とキャンプ1泊を組み合わせた日程として検討中。
〔他の答弁は紙面上省略〕

公印について

問

保管、使用等はどう扱っているか。

答

総務課長 基本的な事項については「小谷村公印規定」による。保管は規定第2条により総務課長、住民福祉課長、診療所事務長、会計管理者が、また、現金取扱員領収印については現金取扱員が保管者。使用については公印取扱者に当該原議及び施行文書を示し、承認を受けてから押印する。
提言 使用簿の閲覧を求めたが無いとのことで、原議の頭をコピーして保管するようお願いしたい。

令和二年 年頭の取り 組みあいさつについて



太田 武彦 議員

問 (1)重点取り組みとして五項目とした理由は。

(2)行政懇談会で要望のあった内容は網羅されているか。
(3)令和二年度予算案は取り組み事項を達成するに十分か。
(4)村長就任時の8つの決意とのかかわりは。
(5)課題は山積しているがどんなものがあると思われるか。
(6)就任以来今日までを振り返ってこの間をどう評価反省をしているか。

答 村長 (1)「答弁済み」

①観光地域づくり審議会の答申を受けて方向性を考える。②CATVやWiFi環境について、施設の老朽化への対応、とりわけWiFi環境は観光、就業環境にかかわるのでバージョンアップした内容の環境とすべく協議中である。③交通弱者への利便性向上については課題解決に向け方向性をみだしていく。令和二年度予算案にあるとおり妊婦への通院費用への支援をする。④地域の資産を教育の場で活用したい。山村留学の導入も協議の地盤づくりをする。⑤複合拠点施設、農産物加工施設、楠川トイレ、がおおきなものである。(2)略。(3)十分吟味して立てた予算であり、裏付けがしっかりとれる観点での予算である。(4)当然かかわりのあるものである。(5)課題というものは常に存

在するものであり、個々の観点からも違いが出てくるものだと考える。私は、まず目の前に立てた目標をしっかりと確実に取り組む姿勢こそが大切であり、その過程の中で見えてくる課題も併せて対応すべきと思っており、現在ある課題を浮き彫りにして、明言することは控えさせていただき、大きなくくりの中でチーム小谷を構築し、良くして行くという考えのもとに立つて、行動することと思っている。(6)公人としての評価反省は自身でするものか、村民の皆さんからしてもらうべきものか意見が分かるところであり、そのうえで改めて個人で自己評価をするならば、評価すべき項目が少なく、反省すべき項目が多かったのかなと思っている。しかし私は、以前から常にポジティブに物事を捉えようと心掛けてきた。それは今も変わりない。反省すべきところがあっても

必ず何らかの成果につながるものとの意識はこれからも持ち続けていく。

問 1月1日付新聞紙上において小谷村の記事が「停滞を脱し、前進の年となるか」という見出しで掲載されていた。私はこの見出しこそ村民の実感を代弁してくれた見出しであると感じた。今議会では多くの議員が予算案についての一般質問をした。これまた本予算案に不安を感じている証とも思える。この緊急事態は並のものではない、一つ間違えば世界恐慌につながる状況である。緊急対策について先の議員質問で、観光連盟を通じてアンケートを取って対応を考える、と答えているが、そんな余裕はあるのか。本年度

答 中財政出動できるか。村長 アンケートは本年度中にまとめ、方向性を出す。

要望 本予算案は、観光事業にかかわらず経済効果を狙った要素に薄いことから必要経費のみとしての暫定予算とし本予算は別途提示し議論してはどうか。



加工施設はどうなるのか

令和2年度主要事業・予算について



北村 利幸 議員

問 梶池自然園トイレは新年度完成できないか。観光客への対応は。

答 村長 予算編成時に計上できなかった。単年度での施工は厳しいので2年度中の完成は見込めない。完成まで仮設トイレでの対応となる。

問 山菜加工所の改修予算と運営は。

答 村長 改修構想をとりまとめ、施設の改修規模や備品の整備など検討中。新年度は加工所・古美里の改修のための基本設計委託料のみ計上した。

問 有害鳥獣対策と解体処理施設の建設を。

答 村長 ジビエの活用と解体処理両方のできるよう考えており、猟友会・ジビエ活用希望者とも検討してゆく。猟友会3支部や会員の意見がまとまれば建設する。

問 複合拠点施設は2年度建設を。

答 村長 軟弱地盤のため造成工事が遅れたが事故繰り越しが認められたので、2年度事業と併せ建設する。

問 東山開発・カレッジスポーツ誘致の実現は。

答 村長 観光審議会の答申を受けて進める。

持続可能な開発目標 (SDGs) 推進を

問 持続可能な開発目標SDGsの実践を。

答 村長 SDGsを目標とした計画はないがスマート農業の推進、指定避難所整備、見守り強化事業緊急通報システム、むらづくり補助金等実施している。「小谷村第6次総合計画」策定にあたっては、地方創生に向けた目標を定めると同時に、SDGsを関連付け村

民一体となった持続可能な村づくりを進める。

「気候非常事態宣言」宣言を

問 当村は豊かで美しい自然・冬季の恵まれた雪により発展してきたが、少雪や酷暑など過去に記録のない気候となった。「気候非常事態宣言」を宣言し二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを目指し

村民一丸になり取り組みべきである。

答 村長 当期と考える。片内調整を経て気候非常事態、ゼロカーボンに向けての村の方針を村民の皆様とともに推進してゆく。

だが、村長が相談した法律の専門家は。

答 村長 個人的に相談をしてきたので相談した方の意向もあり公表は控える。

問 法律の専門家が司法の判断に任せるという選択は不可解だが。

答 村長 合意書の内容が適切か確認できると認識している。専門家が合意書の締結をして契約不履行となるようすすめられたことはない。

問 会社清算の現在の状況は。

答 村長 清算人が行っており、村として答えることはないが、清算に向けて財産と債務の整理を進めていると思う。

問 2月19日の裁判へ出廷されなかったが、責任はどう感じているか。

答 村長 個人的な訴えであり答弁は控える。責任については真摯に受けとめる。

17項目の達成目標



「株おたりアセット清算について」

問 解散合意書の締結をし

わたしのひまわり

ジャンの大冒険

藤原アントネットジャン

2016年10月17日、私は英語を教えるために協力隊の一員として小谷村にやって来ました。

日本へ来るのは私にとっては大冒険、人生で最大の決断でした。小谷村は私の生まれ育ったフィリピンとは大きく異なりますが、住んでみると小谷村が大好きになりました。

小谷村は自然が豊かで四季折々の表情が感動的で、中でも冬に降る沢山の雪は興奮しました。

また、初めての寒い冬の生活で、優しくしてくれた周りの人達には感謝しています。

小谷村に来てから私の周りには、陽気で賢い子ども達や、校長先生、教頭先生を始めフレンドリーで親切

な同僚達ができ、さらには私の人生の夢の一つである

家族まで、この小谷村で見つけることができました。

今、私は結婚をして、優しい藤原家と可愛い娘と暮らしています。

小谷村では沢山の事を学び、発見し、私の人生を豊かにしてくれました。

私は美しい自然、親切な地元の人達、そして私自身の家族と一緒に、小谷村に住めることが最も幸せに思っています。

小谷村ありがとう！チャンスの扉を開き、私に家族を与えてくれて。



家族

(株)小谷村百姓 七人衆発足

猪又実

小谷村の農業を担う

地元小谷村に帰り、20数年。冬はスキー、夏は農業に関わる仕事をして来ました。

自分自身、農業の経験がほぼない中、15年程小谷村農作業受託組合で仕事をしていた危機感を覚えました。高齢化、後継者不足で農地の管理をする人が居ない。

そこで昨年度まで受託組合で働いていたメンバーで法人を立ち上げました。

(経営理念)

小谷村民としてのプライドと実直な仕事を大切に小谷ブランドの開発を通じて、地域の皆様やお客様に喜んでもらえる企業を実現する

平均年齢40程で、中には1ターンの若手2名を含めた10名でやっていきます。

米3ha、酒米80a、蕎麦20ha

を主として加工用トマトなどの栽培などを計画しています。いずれは、小谷村の

農産物で6次産業化を視野に入れてやっていきたいと思えます。他にも、地元小

中学校や修学旅行等の体験型農業などを通して、現代の農業を体験して頂き興味

を持ってもらう様にします。いずれにせよ、地域密着の企業にします。

小谷村の農地を守る中心となる担い手になる様、頑張りますので是非共宜しく

お願い致します。



小谷村の農業は我々にまかせろ!!

編集後記

経験もない少雪ー加えてコロナウイルスの世界的規模での蔓延の中、小谷村にとって緊急事態状況下での三月定例会の開催であった。一般質問においても、かつてないほどの多くの議員が令和二年度の予算案を取り上げ、行政の姿勢をただし、予算特別委員会での予算案審議においても議員個々が是々非々の姿勢で審議に臨み、この緊急事態時における予算案を審議し、不十分との認識で予算案修正を申し入れ、令和元年度補正予算、令和二年度予算を決定した。今後、この緊急事態解決のため、迅速な対応を誓い合った今定例会であった。一日も早い平穏な日が来ることを願っております。

議会広報編集委員会

猪股充拓、北村利幸、藤原賢司、吉岡久人、太田武彦